

雨ってふしぎ

対象：すみれ組 作成者：池下桃代
作成日：2018年年7月5日

保育のねらい●雨の日の遊びを知り、友達に自分の思いを伝える。



触ると冷たいね！
雨って色々な形があるね！

●振り返り

雨がたくさん降った日に、靴箱の前に全員で出て、雨に触れてみました。保育者が「雨ってどんな形かな？」と声をかけると、「まるいのとか、真っ直ぐで大きい雨もあるなあ、屋根から落ちとるのはまるじゃなあ」と考えながら発言する姿が見られました。その後、6月の壁画製作のあじさいの周りに雨を描いてみると「さっきの雨はまるだったけんまるで描いてみよう」や「雨ってクレパスだったら何色で描いたらいいんだろう...透明だから白色かな？」と窓の外を見ながら、考える姿が見られました。（豊かな感性と表現）

自分で気付いたことがあれば、友達に知らせてくれるすみれ組さんですが、雨の絵を描いている時には、自分の思いを友達に上手に伝えきれずに「雨って水色に決まっとる！」と怒って自分の思いを表現する姿も見られました。保育者は、「黄色の屋根から落ちてくる雨は黄色に先生は見えるけどみんなはどうか？」や「雨の中をじっと見つめてみるとその奥に小学校が見えるから色々な色を使って描いてみてもいいかもね。」と声をかけました。これからも一人一人の思いを大切にしながら、楽しい会話が続く絵画製作をしていきたいと思ひます。（言葉による伝え合い）